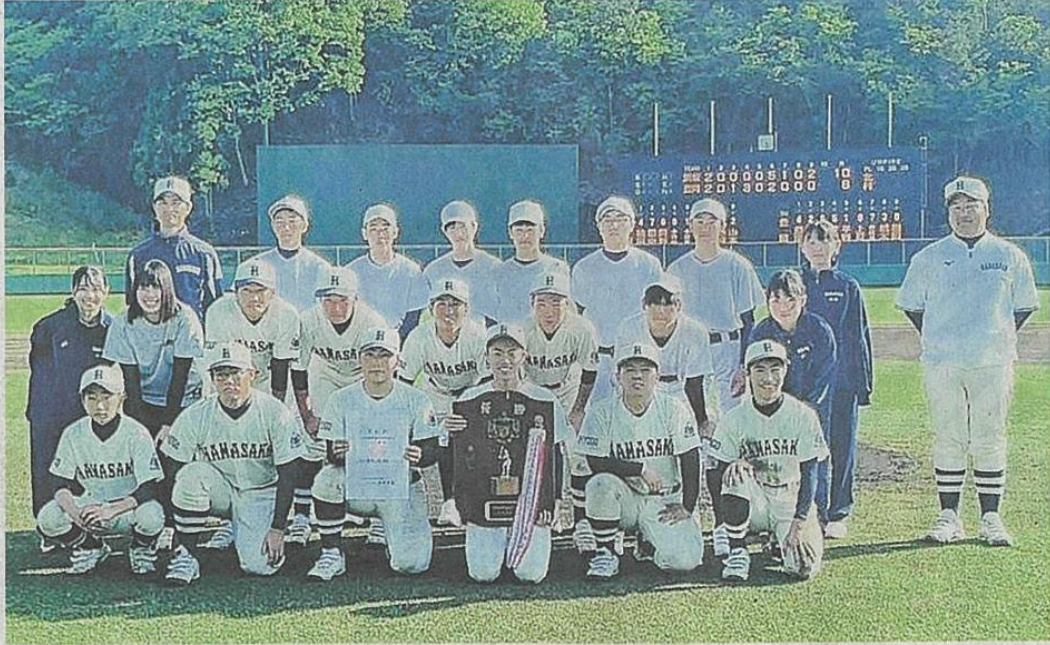


2023年(令和5年)5月14日 日曜日

日本

但馬総体決勝で豊岡との激戦を制して初優勝した浜坂高野球部＝8日、豊岡市戸牧の豊岡こうのとり球場(同校提供)



6、8両日に豊岡市などで開かれた全但馬高校春季総合体育大会(但馬総体)が、七、九回に計3得点と粘りを見せ、硬式野球の部で、浜坂が豊岡との激戦を制して初優勝を果たした。夏の甲子園県予選に向け大きな弾みとなり、選手たちはさらなる高みを目指して練習に熱を入れている。

後に2点を取られ再び劣勢となったが、七、九回に計3得点と粘りを見せ、10―8で勝利した。

昨年8月の新チーム発足以降、公式戦で1勝もできず、苦戦が続いた末の栄冠。3年の小林陸主将(18)は「(バットを)積極的に振ることをチームの目

浜坂高野球部初V

但馬総体甲子園県予選に弾み

大会には8チームが出場。浜坂は生野・村岡に10―0で六回コールド勝ち、香住に3―2で勝ち進み、決勝で豊岡と対戦した。

陰山貴弘監督(33)は「初戦のコールド勝ちも香住との1点差も初めてで、3試合とも意味のあるゲームだった。よく頑張ってくれた」と選手たちの健闘をたたえた。

大会には8チームが出場。浜坂は生野・村岡に10―0で六回コールド勝ち、香住に3―2で勝ち進み、決勝で豊岡と対戦した。

大会には8チームが出場。浜坂は生野・村岡に10―0で六回コールド勝ち、香住に3―2で勝ち進み、決勝で豊岡と対戦した。

(井上雅大)